

この記事は、主に右記SDGsのゴールの達成に役立つものです。
【SDGs…持続可能な開発目標】

3 3 すべての人に健康と福祉を



緊急時は、迷わず119

迷ったら

病院? 救急車? 迷ったら

救急相談センター

#7119

24時間365日対応

つながらない場合や、広島県外から携帯電話でかける場合は

082-246-2000

救急出動件数の増加が続いています。救急車の適正利用にご協力をお願いします。
圏消防局救急課(☎546-3461、☎249-1160)、救急相談センターについては、健康福祉局医療政策課(☎504-2178、☎504-2258)



市消防局
マスコットキャラクター
「もみみん」

本当に必要としている人を1秒でも早く救うために

昨年度の救急車の出動件数は7万2818件で過去最多となりました。およそ7分に1件のペースで出動しています。出動件数の増加に伴い、救急車が現場に到着するまでの時間が伸びています。

緊急性の低い救急車の出動要請が増えると、本当に必要な人の所に向かう救急車の到着が遅れ、「救える命」を救えないことになります。

救急車の適正利用にご協力をお願いします。



ストップ STOP! 不適正利用

救急車は緊急に医療機関を受診するための、地域の限られた資源です。

救急車の出動のうち、不適正利用と思われる事例も少なくありません。「タクシーがつかまらなかったから」という理由で救急車が出動したこともあります。以下のような理由で安易に救急車を呼ぶことはやめましょう。

- どこの病院に行けばいいかわからないから
- 病院で優先的に診てもらえると思ったから
- 夜間・休日などの診療時間外だから
- 救急車は無料だから
- 交通手段がないから など

こんな時は、すぐに119

- 突然の激しい頭痛や高熱
- 立ってられないほどのふらつき
- 急な息切れ、呼吸困難
- ろれつがまわらない、うまく話せない
- 視野が欠ける
- 突然、胸や背中に激痛がする など

迷ったら #7119

救急車を呼ぶべきか迷ったときは、救急相談センター広島広域都市圏・備後圏域(ダイヤル「#7119」)に電話してください。症状を聞いて看護師が緊急性を判断し、アドバイスをを行います。

本当に必要なときは迷わず救急車を

緊急時には、私たちが駆けつけ、適切な処置や医療機関の選定を行います。命の危険を感じたら、ためらわずに救急車を呼んでください。



中消防署大手救急隊の皆さん
左から、藤岡徳貴副隊長(34)、吉川洋隊長(43)、川西俊祐隊員(33)